

迎春 コロナ禍の中ですが、新たな希望の年に HP <http://yama-to-hana-no-tayori.sakuraweb.com/>

私達（今年80歳に）の自画自賛と新年の抱負

- ① 半世紀以上続けてきた「赤旗」新聞の配達・集金を今後も続けます。昨年少なくとも友人・知人が「赤旗」購読を開始。私達にとって大きな喜びでした。
- ② 健生会友の会支部の世話人をしつつ、トミ子は新舞踊とペン習字を、忠は山歩きとHP（新・山と花のたより）更新を続けます。
- ③ 夫々の持病と付き合いつつ、健康増進。虫歯・入歯なし、トミ子27本、忠32本の歯を保ちます。
- ④ 国民と野党共闘で「命・暮らし優先の新しい政府」を。

今後ともお力お貸しください。

2021年元旦 松尾忠・トミ子



↑千早赤阪村の棚田で

身近かに迫るコロナ 自粛しつつも適切な運動も

1月8日新聞朝刊は一面で「1都3県での緊急事態宣言」を大見出しで載せ、地方版で「土庫病院でクラスター発生」を報じた。病院側の懸命な感染防止対策と職員あげての努力を知っているだけに、胸が痛んだ。

3密避けて二上山に

気を取り直して、「3密避けての運動」＝「二上山早朝登山」に出かけた。今、高齢者こそ運動が欠かせない。

6:40 バイクで出発。6:55 葛城市當麻の初田川公苑に到着。イカルの美しい鳴き声が響いている。身支度を整えて7:05 登山開始。當麻大池に結氷は無く、さざ波を切ってキンクロハジロなど水鳥が泳いでいる。



↑キンクロハジロ（カモ科ハジロ属）冬鳥 写真はTさん

鋭い声はカイツブリのものか。

大津皇子の墓（伝）の前を通過

7:15 鳥谷口古墳（大津皇子の墓と言われている）。石棺を横目で見ながら、雑木林の中の登山道へ。懸念していた積雪や凍結は無く、落ち葉に凍り付いた残雪をシャリシャリと踏みしめながらゆっくり登る。

7:40 「ながめ坂」の表示板がある展望地に着き、振り返ると、東の山際からやっと離れた朝日が眼下の大和盆地を照らし出している。ため池や高架道路が白く輝き、大和三山が島のように浮かんで見える。

←コゲラ（スズメくらい大きさ）



誰にも逢わずに山頂に

やがて雄岳への急登に差し掛かる。強い風が梢を鳴らし続けているが、木漏れ日に背中を温められての登りは心地よい。コツコツと小さな音が聞こえる。コゲラ（キツツキ）が木の枝をつついてるのだ。

木の根にすぎり、ロープを手繰って進み、8:20 二上山雄岳山頂（標高517m）着。雪の上に靴跡がある

が、無人。

病院励ます登山者たち

小休憩後、雌岳との鞍部＝「馬の背」に下る。この途中で、この日初めて人と逢った。顔見知りの高齢者、元気に挨拶を交わして8:35馬の背着。ここから祐泉寺への下山路を辿る。

この下りで上ってくる健生会友の会会員二人に出会った。開口一番「病院が大変ですね」から始まったコロナ論議は、菅政権の迷走無策ぶりへの怒りから次回総選挙で自民議席の後退を、に及び、最後に「病院の皆さんに頑張ると伝えてください」で終わった。

9:05 祐泉寺、9:25 登山口。バイクでの走行は寒かったが、元気をもらって9:40 帰宅。

↑イカル



キノガサタケの不思議な魅力

キノコの女王=キノガサタケ

いつ頃からか、二上山の奈良県側登山口から祐泉寺に向かう林道脇の斜面竹林にキノガサタケが姿を現すようになった。季節は梅雨明けあたりから晩夏まで。時期も出現数もバラツキがあるが、多い時には30個体もが斜面に次々と出てきて、登山者を楽しませている。ここ数年は二上山ふるさと公園の竹林にも出ているらしい。その姿の美しさで「キノコの女王」と呼ばれている。

目の前での変身にびっくり

幼菌は径5~6cmの卵状、朝、その球体が割れて本体と軸（托）が現れ、伸び始める。そして間もなく本体と托の間から白い物が現れ、短時間で美しいベール（菌網）を形作る。辛抱強く待っていれば、この変身過程を観察することが出来る。



悪臭で虫たちを集める

キノガサタケは姿は美しいが、強い異臭を放つ。腐敗臭の類で人によっては我慢できないものだが、実はこの臭いで昆虫やナメクジを集める。

右上の写真ではベールの中に、左の写真では本体やベールに、虫が集まっている。ほとんどがベッコウヒラタシデムシ（写真右）で、動物の死体や糞で生活している甲虫だ。

助け合っているキノコと虫たち

集まってくる虫の中にはハエの仲間や蝶（イシガケチョウなど）もいて、この虫たちはキノコを食べたり、汁を吸ったりするが、身体の内外に沢山の胞子を抱えて移動していくので、キノガサタケの胞子拡散=繁殖を助けているのだ。こうした双方に利益をもたらす協力関係は「双利共生」と呼ばれている。自然の不思議さ、生物進化の妙に感嘆するばかりだ。↓イシガケチョウ



生物の多様性を大切に

残念なことに、キノガサタケは各地で絶滅危惧種となっている。みんなで生物多様性を大切に、二上山の自然を大切に。

「学術会議会員の任命拒否の撤回を求める」署名にご協力ください

